

問1 昭和五十年代と平成十二年ごろの旭川市周辺の状況を比較した資料において、この地域で見られる土地利用の変化として最も適切なものはどれですか。 (2016年 京都公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|--|
| 1. かつての田畑や空き地が、住宅地や発電所などの施設へと転換された。 | 2. 住宅地として利用されていた場所が、大規模な水田や畑へと整備し直された。 | 3. 広大な森林地帯が、すべて道路の廃止に伴って未開発の空き地となった。 | 4. 発電所などの公共施設が撤去され、その跡地がすべて伝統的な農地に復元された。 |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|--|

問2 北海道の根釧台地など、夏の気温が低く稲作に適さない地域で見られる、広大な土地を利用して乳牛を飼育し、生乳やバターなどを生産する農業形態を何とといいますか。 (2019年 岡山公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|-----------|---------|
| 1. 酪農 | 2. 果樹栽培 | 3. 稲作単一経営 | 4. 施設園芸 |
|-------|---------|-----------|---------|

問3 北海道の農業産出額において、畜産が全体の中央値や平均を大きく上回り、5割を超える高い割合を占めている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 冷涼な気候と広大な土地を活かし、酪農や肉用牛の飼育が大規模に行われているため | 2. 都市近郊の立地を活かし、新鮮な豚肉や鶏肉を供給する施設園芸が発達したため | 3. 水田単作地帯から、野菜や果樹を中心とした多角経営への転換が最も進んだため | 4. 温暖な気候を利用して、牛の放牧と米の二毛作を組み合わせた生産が行われているため |
|---|---|---|--|

問4 かつての石狩平野の自然環境と、その土地で行われた開発の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2021年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 火山噴出物が堆積した水はけの良い土地であったため、大規模なかんがい施設を整備して畑作を行った。 | 2. 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。 | 3. 海岸近くの浅瀬を堤防で囲んで干し上げた土地であったため、塩害を防ぐための用水路整備を優先した。 | 4. サンゴ礁が隆起してできた保水力のない土地であったため、地下ダムを建設して農業用水を確保した。 |
|--|---|--|---|

問5 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷と、その地域への影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。 | 2. 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。 | 3. 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往來をすべて止めている。 | 4. 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。 |
|--|--|--|---|

問6 北海道東部の釧路市周辺には広大な湿地が広がっています。この地域の自然環境と農業について述べた文として正しいものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 夏季に発生する霧の影響で気温が上がりにくいため、稲作よりも、冷涼な気候に適した酪農が盛んに行われている。 | 2. 冬に北西から吹く湿った季節風が山脈に突き当たり、世界有数の豪雪地帯となるため、冬の間の農業は行われない。 | 3. 広大な湿地を干拓して大規模な水田地帯が作られており、石狩平野と並ぶ北海道有数の米の産地となっている。 | 4. 年間を通じて温暖な対馬海流の影響を強く受けているため、冬でも雪がほとんど降らず、野菜の促成栽培が行われている。 |
|---|---|---|--|

問7 日本の地方別統計において、北海道地方は耕地面積が極めて広い一方で、農家数は他地方と比較してそれほど多くありません。この「農家数に対する耕地面積の割合が非常に高い」という状況が、北海道の農業経営にどのような影響を与えているか、正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 高知公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 一戸あたりの作業範囲が広いため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている | 2. 農家一戸あたりの土地が狭すぎため、複数の農家が共同で土地を管理している | 3. 労働力が余っているため、機械を使わずに手作業による丁寧な栽培が行われている | 4. 土地の生産性が低いため、農業を営む世帯が減少し、耕作放棄地が最も多くなっている |
|--|--|--|--|

問8 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|--------------|
| 1. ユネスコ | 2. 国連児童基金 | 3. 世界貿易機関 | 4. 東南アジア諸国連合 |
|---------|-----------|-----------|--------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 かつての田畑や空き地が、住宅地や発電所などの施設へと転換された。	昭和から平成にかけて、旭川市のような地方中心都市の周辺部では都市化が進展しました。1970年代（昭和五十年代）にはまだ多く残っていた田畑や空き地が、2000年（平成十二年）ごろには、増加する人口を受け入れるための住宅地や、都市活動を支えるための発電所といった施設へと姿を変えています。これは、土地がより高度で集約的な用途へと転換されたことを示しています。
問2	答え 1 酪農	北海道東部の根釧台地では、夏でも気温が上がりにくい冷涼な気候を活かして、広大な土地で乳牛を育てる酪農が盛んに行われています。ここでは、大型機械を導入した大規模経営が行われており、日本全体の生乳生産において極めて重要な役割を果たしています。
問3	答え 1 冷涼な気候と広大な土地を活かし、酪農や肉用牛の飼育が大規模に行われているため	北海道の農業は、1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を用いた効率的な生産が行われています。特に冷涼な気候は乳牛の飼育に適しており、広大な原野や草地を利用した大規模な酪農が営まれていることから、産出額に占める畜産の割合が非常に高くなっています。これに対して、都市近郊型農業や温暖な気候を利用した促成栽培は、他の地域の特色です。
問4	答え 2 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。	石狩平野の開拓における最大の課題は、泥炭地と呼ばれる湿地帯の克服でした。泥炭地は植物が腐敗しきらずに積もったもので、そのままでは農業に適さないため、水を抜くための排水技術と、別の場所から土を運び入れる客土という高度な土地改良技術が組み合わせられました。他の選択肢にある「火山噴出物の土地」はシラス台地、「サンゴ礁の土地」は沖縄・南西諸島に関する記述であり、石狩平野の歴史的背景とは異なります。
問5	答え 1 シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。	流氷はシベリア沿岸で発生し、海流に乗ってオホーツク海を南下して北海道の北東岸に到達します。かつては漁船の出港を妨げるなどの負の側面が強調されましたが、現在では砕氷船（ガリンコ号やオーロラ号）による観光や、流氷とともにやってくるクリオネなどの観察といった観光資源としての側面が重視されています。他の選択肢にある冷害の原因は主に夏の「やませ」などであり、流氷の性質とは異なります。
問6	答え 1 夏季に発生する霧の影響で気温が上がりにくいため、稲作よりも、冷涼な気候に適した酪農が盛んに行われている。	釧路湿原に代表される道東の太平洋側は、夏の季節風と寒流の影響による海霧で気温が上がらないため、米作りには適していません。そのため、この冷涼な気候を活かして、乳牛を飼育する酪農が大規模に行われています。選択肢にある「豪雪地帯」は主に日本海側の特徴であり、「温暖な海流」や「促成栽培」は宮崎県や高知県などの南日本の特徴です。
問7	答え 1 一戸あたりの作業範囲が広いため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている	農家数に対して耕地面積が広大であるということは、農家一戸が管理しなければならない面積が非常に大きいことを意味します。人の手による作業だけではこの広大な土地をカバーできないため、大型機械を活用した大規模経営を行うことで、一戸あたりの生産性を高める工夫がなされています。これが、北海道が日本最大の食料供給基地と呼ばれる理由の一つです。
問8	答え 1 ユネスコ	知床の流氷が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。